

第9回南陽市教育委員会会議録

日時：令和7年9月25日（木）

午前10時00分～11時10分

場所：南陽市役所 庁議室

出席者

一 番	山 岸 俊 道	二 番	鎌 田 一 郎
三 番	池 田 めぐみ（欠席）	四 番	相 澤 裕 子

説明のため出席した職員

管理課長	鈴 木 博 明	学校教育課長	安 達 心
社会教育課長	田 中 聡	史跡文化主幹	角 田 朋 行
管理課長補佐	金 子 ちあき	学校教育課長補佐	志 賀 俊 介
学校教育課指導係長	佐 藤 由紀子	学校教育課指導主査	高 橋 栄 介
職務のため出席した職員	佐 藤 光 緒		

議 事 日 程

開 会

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議第35号 南陽市児童生徒等就学援助要綱の一部を改正する要綱の
制定について
- 日程第 4 協 議 通学区域（学区）変更について
- 日程第 5 諸般の報告
- 日程第 6 業務報告
- （1）管理課 （2）学校教育課 （3）社会教育課

そ の 他

（1）連絡事項

次回定例教育委員会 令和7年10月24日（金）午前10時
※令和7年度教育委員会表彰式（午前9時30分～）後の表彰
者との懇談会後

閉 会

開 会

日程第1 会議録署名委員の指名

教育長が山岸俊道委員と鎌田一郎委員を指名

日程第2 会期の決定

教育長が会期を本日1日限りとすることを決定

日程第3 議第35号

南陽市児童生徒等就学援助要綱の一部を改正する要綱の制定について

- ・学校教育課長が、要綱の改正案について説明
- ・要綱第8条第2項の準要保護児童生徒等の認定基準について、「100分の120未満」から「100分の140未満」に改める。
- ・物価高騰や消費者の現状に加え、近隣市町の状況を鑑みて制定する。

(原案のとおり承認)

日程第4 協議 通学区域(学区)変更について

- ・学校教育課長が別紙資料により、通学区域(学区)の指定変更者等について説明

(原案のとおり承認)

日程第5 諸般の報告

教育長より報告

- ・南陽高畠地区少年の主張大会について
第64回大会が8月29日にえくぼプラザで開催されたことを報告
南陽と高畠の中学校から8名出場し、赤湯中学校3年生の大浦瑞喜さんが第1位、沖郷中学校3年生の齋藤美初さんが第3位に入った。
大浦さんは家族、齋藤さんは平和をテーマとして発表した。
大浦さんは置賜ブロック大会でも上位に入り、県大会に出場した。
- ・南陽市議会の9月定例会について
9月1日から19日に行われたことを報告

一般質問では、夜間中学の設置について、市立図書館の施設の状況と今後のあり方についての質問があり、特に夜間中学は県教育委員会が県立学校としての設置を検討している。

予算特別委員会では中学校施設整備事業費について、決算特別委員会では刀鍛冶の水心子正秀氏についての質問があった。

各担当課長が適切に答弁を行ったことを報告

・ 定例小中学校長会議について

9月12日に行われたことを報告

南陽市立小中学校の再編統合の進捗状況について報告

川西町のコインランドリー駐車場での強盗事件、熊の目撃情報、台風や大雨等を受けて、校長先生方の意見も踏まえた児童生徒の安全な登下校指導を、教育委員会と学校で連携して行ってほしい。

その他、管理職試験について、教職員による盗撮等のわいせつ事案を含めた綱紀保持について触れた。

・ 水心子正秀氏の没後200年記念式典・記念講演について

9月15日に行われたことを報告

水心子正秀氏は江戸時代後期の刀鍛冶で、南陽市中川地区出身であること、赤湯の北町で鍛冶の腕を磨き、日本刀会に革新をもたらした人物であることを報告
アニメやゲームのキャラクターとしても全国の刀剣女子から支持を得ており、記念式典には遠方からも参加があった。

今回の記念事業は、水心子正秀氏の功績と精神を次世代に伝える貴重な機会となった。

赤湯小学校と赤湯中学校で行われた記念講演では、南陽8ミリクラブの加藤正人氏より「ふるさとの刀工水心子正秀」と題し、南陽8ミリクラブ制作の視聴覚教材を鑑賞したことを報告

日程第6 業務報告

管理課長、学校教育課長、社会教育課長、史跡文化主幹より報告

各課の議案書資料に基づき、業務報告を行った。

水心子正秀氏の記念事業等について

鎌田委員

・ 講演会の主催はどちらになるのか。

⇒**教育長**：主催は記念事業の実行委員会である。

鎌田委員

- ・講演会に至るまでの経緯と市民への周知方法について伺いたい。
- ・南陽８ミリクラブで文化に親しむ目的で企画し周知するのであれば理解できるが、今回の講演会は急に行われたように感じており内実を知りたい。

⇒**学校教育課長**：議会における市当局の認識についての質問に対しては、捉えていなかったと回答した。

山岸委員

- ・教育委員会で後援に入っているのか確認したい。

⇒**教育長**：後援に入っている。

山岸委員

- ・後援に入っているのであれば事情をある程度知っておく必要があると思う。

⇒**学校教育課長**：令和６年度は事務局として捉えていなかったが、令和７年度に後援依頼があった際に初めて捉えた。

令和６年度から、実行委員会の事務局長の方では講演会を開催したいという思いがあったのではないかと感じている。

鎌田委員

- ・教育委員会の後援は妥当だと思うが、事業そのものが私物化されている印象を受けた。
- ・南陽市全体で取り組むべきことなのか疑問に感じる。

⇒**教育長**：主催に実行委員会、共済に烏帽子山八幡宮顕彰会と南陽８ミリクラブ、後援に南陽市・教育委員会と赤湯・中川地区長会、協力として赤湯小学校・赤湯中学校とそれぞれのＰＴＡや諏訪神社、結城豊太郎記念館等となっている。

鎌田委員

- ・動員は各学校にあったのか確認したい。

⇒**教育長**：校長・教頭先生には動員があったが各先生方にはなかったと思われる。

⇒**学校教育課長**：赤湯小学校と赤湯中学校の校長・教頭先生が実行委員会の事務局に入っている。

相澤委員

- ・大変良い事業だと思うが、南陽市が後援に入っている以上、一部の人が知らない状況は問題であると感じている。
- ・全国に南陽市をアピールすることは良いが、市での情報共有が必要だと思う。

山岸委員

- ・吉野の赤山地区出身で高橋宥明上人というお坊様がいたが、実はオカルト的な思想を持つ団体から支持されていたという話があった。
- ・同様に、水心子正秀氏も一部で盛り上がっているものの、南陽市や教育委員会が取り上げるべき人物なのか疑問に感じている。

鎌田委員

- ・山岸委員の意見に賛同する。

山岸委員

- ・水心子正秀氏が市の文化財として取り上げられたことはあるのか。

⇒史跡文化主幹：刀や生まれた場所も市の指定文化財や史跡である。

以前市報でも人物紹介をしたことがある。

教育長

- ・水心子正秀氏は、一部の人にとっては全国的に有名な人物であり、南陽市をアピールする良い機会であるという意見もある。

こども県展等について

- ・鎌田委員より、県展賞を受賞した2名の児童生徒の作品について報告
- ・南陽市の小中学生全体のレベルの高さを実感した。
- ・明るい選挙ポスターの作品の素晴らしさについても報告

地区の運動会について

相澤委員

- ・各地区の運動会の状況を伺いたい。

⇒社会教育課長：吉野地区は、従来の運動会を継続する方向で検討していたが天候により今年は中止となった。

赤湯地区は、運動会の形式ではなく種目を組み合わせた形式で行っている。

沖郷地区は、従来の運動会を継続している。

宮内地区は、カローリング大会に移行している。

各地区で課題があり、以前の形式を継続する、または種目を絞る等、それぞれで対応している。

相澤委員

- ・各地区に任せることは良いと思うが、子供の減少や人とのつながりの希薄化の現状を考えると、行事を継続する方向となるように社会教育課の方からも働きかけてほしい。

鎌田委員

- ・南陽市合同大運動会の構想はあるのか。

⇒**社会教育課長**：具体的な構想はない。

中川地区と吉野地区の事例のように、形を変えながら幅広い世代間でのスポーツ交流の機会を確保していきたいと考えている。

相澤委員

- ・シニア世代の方との交流等、多様な方法を検討していただきたい。

鎌田委員

- ・少子高齢化が進む中、南陽市全体での合同大運動会の開催を提案する動きがあっても良いのではないかと思う。

小学校の運動会における競争種目について

鎌田委員

- ・小学校の運動会で競争種目の減少傾向があるのではないか。

⇒**学校教育課指導主査**：競争種目はまだ多く残っているため減少傾向にはないと思われる。

⇒**教育長**：学校によっては、リレーや長距離走がなくなる動きもある。

鎌田委員

- ・以前から競争種目の減少傾向を懸念している。
- ・勝ち負けと克服の経験を積むことが重要だと思う。

小学校給食費の無償化等について

相澤委員

- ・小学校給食費の無償化が令和8年度から始まる一方、中学校給食費の無償化も検討しているということだが、財源はどうなっているのか。

⇒**管理課長**：保護者負担金だけではなく市で出している物価高対策のお金まで、国の財源として見てもらえるかは現段階では不透明である。

南陽市では、物価高対策として年間約2,000万円を予算化している。

鎌田委員

- ・令和８年度からの小学校給食費無償化についても不透明なのか。
- ・国として無償化が白紙となる可能性もあるのではないかと懸念している。

⇒**管理課長**：令和８年度からの無償化については、当時の与党と日本維新の会間における合意文書のみが根拠となっており、具体的な通知は国からは来ていない。

教育長

- ・現状国の動向を待つしかないという認識でよろしいか。

⇒**管理課長**：認識のとおりである。

その他（１）連絡事項

次回定例教育委員会について**管理課長補佐**より連絡

赤湯幼稚園訪問について

- ・学校教育課指導係長より、本日９月２５日に予定されている赤湯幼稚園訪問について、３時１０分頃までに終了する等日程を説明

公開研について

- ・学校教育課指導係長より、１０月２４日に予定されている公開研について、１時３０分から開会する等日程を説明
- ・教育委員の方には、資料の確認をお願いしたい。

閉 会

教育長が令和７年９月１６日付け南陽市教育委員会告示第１４号をもって招集した第９回南陽市定例教育委員会の閉会を宣言